



TITLE:

此頃小望遠鏡で面白い星

AUTHOR(S):

NK

CITATION:

NK. 此頃小望遠鏡で面白い星. 天界 1923, 3(27): 93-94

ISSUE DATE:

1923-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159836>

RIGHT:

此頃小望遠鏡で面白い星

N K 生

プレアデス(Pleiades) 星團及び星雲

赤經三時四十一・四分 赤緯北二十三度三十二分

星團として最も有名で目の好い人は十數箇の星が見える。群全體の美觀は二三時の低倍率の望遠鏡で得られる。實に麗しい群である。大口徑の高倍率のものでは美觀が失はれる。星群だけでなく見落してならぬものがある。其れは此の群を取巻く星雲である。寫眞の通りが見えるものと思つて失望せられた方が澤山あらうと思ふ。見難い星雲で大きな望遠鏡で見えない場合がある。星雲の一部が見えるのであるが中央の最も輝いた星(Alcione)の西南の一星 Merope から北にのびて居るので二時でもよく晴れた月の無い夜二十倍で随分明瞭に見える。見えない人は目が悪いのである。但し時につき三十倍以上禁物。

M六十七 N.G.C.二六八二 星團

赤經八時二十六・九分北十二度六分

蟹座αのすぐ西にあつて双眼鏡でも見える。密集した不規則星團で四時なれば多數の星が見える。

駁者四十一番 二重星

赤經六時五・五分赤緯北四十八度四十四分

六・二等と六・八等の美しい重星で距離は七・九秒位置角は三百五十五度である。二時で容易である。

オリオン座β 重星

赤經五時十・七分、赤緯南八度十七分

○三等の大星と六・七等星の二重星で位置角二〇二度距離九・六秒であつて非常に見にくい對である。二時望遠鏡でも良いのである。伴星が見えるので二時の試験星にされて居る。可なり大きな望遠鏡でも見にくいから注意されん事を希望する。伴星は彼の有名な重星觀測家バーナム氏が僅か六時を以て星像の長さを認め重星なるを疑つた。其後エイトケン等によりてリツク天文臺の三十六吋にて重星なる事を認められた。二重の距離は最大〇・二秒を超えず。三十六吋にても多くの場合分離する事は出来ぬ。此れは僅か六時にて星像の長さを認め得たるクラーク製レンズの驚くべき優秀なるものである事を證するのである。

M九七號 大熊座 星雲

赤經十一時十分 赤緯北五十五度二十七分

我々の最初に見る遊星狀星雲でロックス郷の命名なる梟星雲 Owl nebula である。位置は大熊座βの東南約二度半にあつて三時でもよく見えるが目によつて甚だ見難い事がある。

直径はジョンハーシエルによる三二分四十秒あつて最大の遊星狀星雲である。青白い丸い遊星の様な形をして居る。

β 此の星雲この中間十一時六・八分 北五十六度六分の所に小さい星雲狀のものが見つかる。此れはN・G・C・三五五六なる星雲で四時で無ければ見にくい。

牛飼座と 連星

赤徑十四時四十四・七分 北十七度二十六分

四・八等と六・八等の連星で黄色星と紫色の美しい星である現在の位置角は五十五度で距離は二・六秒で良好な二時で分離して見える。百三十年乃至百七十年の週期を有する連星とされて居る。位置角は減じつゝある。

兔座 γ 變光星 赤色星

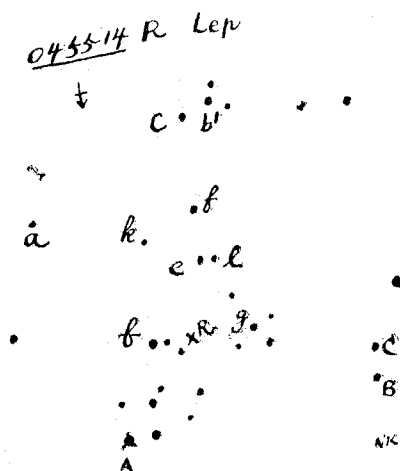
赤徑 4 時 55 分 3 秒

赤緯南 — 14° 57.4'

1855 年シホミット、Schmitt の發見した星で變光は 6.1-9.7 等で週期は 436.1 日である。近くに大きな星が無いので探しにくい星である。Hind の Crinus on Star と稱へられ全天で赤い星である。

等	5.87
A	6.35
B	6.98
C	7.52
b	7.85
a	8.50
b'	8.64
c	9.00
d	9.09
f	9.47
g	10.04
k	0.35
l	10.63

A B C の等級はハーゲンの表の H.P. をとり b 以下は H.A. V₀ 1.57 より三つたので名の順はちがつて居るが原文の通りである。



追記

前號、オリオン座U星は圖のq星の左りの星である。